

科目名	日本事情		英文表記	Japanese Circumstances		2016/3/31	
科目コード	3015						
教員名: 島袋 政和 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
留学生	3年	選	履修	2単位	講義	通年	
科目目標【MCC目標】	母国において、自国の文化や歴史、経済、政治等を学んできた学生達にとって、「日本事情」を学ぶことは母国の文化や政治等を振りかえる格好な機会だと思われる。本校で学ぶ留学生の出身は数カ国にまたがる。授業の中でそれぞれの母国の文化等をディスカッションし合い意見を発表することによって、日本や互いの国の文化・歴史等の類似点や相違点に関心を寄せ、理解し合えるよう努める。【Ⅲ-c】						
総合評価	前期・後期評価:通年で2回の口頭発表と8回のレポート、および2回の校内・校外体験実習を課し、期末試験を含めて総合評価する。 尚、口頭発表(20%)+レポート(30%)+期末試験(50%)の割合で評価し、学年末評価は、前期評価と後期評価の平均で行う。						
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	40%	① 講義の内容は日本の歴史・文化・人口等の重要なテーマにしている。基本的な知識を理解できることに努める。	テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する。	各分野をよく理解し分析力に優れている	各分野を理解できる。	基礎的な漢字を理解し、基本文型で文章が書ける	
	30%	② 資料やデータを提示し、ディスカッションやレポートで理解を深める	テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する	各分野の重要な課題を見出して理解を深める。	各分野の用語の適切な使用や基本的な課題を見出す。	例えば、東京や京都の位置や憲法の基本的な原理を理解できる。	
30%	③ それぞれの母国の課題についてディスカッションを通して、類似点や相違点を見出し、お互いに理解を深める。	テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する	各分野の課題を指摘し、問題の要因や究明方法に意欲的な姿勢が窺われる。	各分野の基本的な知識を深めていて、ディスカッションでも意欲的に発言する。	ディスカッションを通して意欲的な学習態度がうかがわれ、また、基本的な用語等もよく理解している。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	(空白)	
	○	◎		○	JABEE プログラム教育目標		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実証・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		50	0	30	20	100	
基礎的理解		25		15	10	50	
応用力(実践・専門・融合)		25		15	10	50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>① 留学生の目に映るものは全て初めての体験であると思われる。この中から、日本の文化や歴史に留まらず、日本の人口減少とかデフレ、選挙などに関心を寄せることも想定される。このため、ごく限られた時間ではこれらの事柄について理解を深めることは困難な面もあると思われるが、「日本の事情」には欠かせないものと考え留学生達が理解を深められるよう努める。</p> <p>② 日本と地元沖縄の歴史・文化等について理解を深め、互いの母国の事情を振り返りながら、互いにディスカッションし発表し合えるよう努める。</p> <p>③ 授業では、できるだけディスカッションや発表を活発に活かし、「日本事情」に留まらず互いの母国の「事情」との類似点や相違点にも目を向けるよう努める。</p>						
教科書・教材	適宜資料を配付						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習) 内容	セル フ チエッ ク
1	コースインフォメーション	2	内容・レポート発表等について	プリント復習	
2	日本と世界の地理	2	日本の地理的位置	プリント復習	
3	日本の地理	2	日本の自然・山岳等	プリント復習	
4	日本の地理	2	日本の都道府県・都市名等	プリント・レポート	
5	日本の歴史	2	古代～江戸時代概観	プリント復習	
6	日本の歴史	2	江戸時代末期	プリント復習	
7	日本の歴史	2	明治維新～	プリント復習	
8	日本の歴史	2	昭和～平成	プリント・レポート	
9	沖縄の歴史	2	～1945年	プリント復習	
10	日本の文化	2	特徴	プリント復習	
11	日本の文化	2	生活・風習	プリント復習	
12	日本の文化	2	世界および日本の宗教	プリント復習	
13	日本の文化	2	囲碁	実習	
14	日本の文化	2	舞踊	実習・レポート	
15	前期の総まとめ	2	発表・討論	レポート	
期末	期末試験	[2]			
16	日本と主要国の産業	2	産業概観	プリント復習	
17	日本の産業	2	産業構造	プリント復習	
18	日本の産業	2	プラザ合意以後	プリント復習	
19	日本の産業	2	アベノミクス等	プリント復習	
20	日本の産業	2	少子化・高齢化問題	プリント・レポート	
21	日本と世界の人口	2	少子化・高齢化問題	プリント復習	
22	日本の人口	2	年金・保険と少子化社会	プリント学習	
23	日本の社会保障	2	社会保障	プリント復習	
24	日本の社会保障	2	社会保障	プリント・レポート	
25	日本の憲法	2	国民主権・明治憲法概観	プリント復習	
26	日本の憲法	2	平和主義	プリント学習	
27	日本の憲法	2	基本的人権	プリント学習	
28	日本の憲法	2	基本的人権	プリント学習	
29	日本の憲法	2	立法・行政・司法	プリント・レポート	
30	1年の総まとめ	2	演習発表・討論	レポート	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	授業で扱ったテーマについて発展的に調べ考察する。			各2時間×30回	
②	校外・体験学習で習得した項目に関してレポートを課する。			各5時間×2回	
③	自分で選んだテーマについて発表活動をし、レポートを課する。				
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)